

研究発表題目（企画シンポジウム・部門別口頭発表）3月10日 午前 1/2

会場	331	332	341	342	343	411	412
開始時刻				造林 1	防災・水文 2	S7 森林教育の発展	
9:00				E1 機械地捨て地で下刈り1回のみ行ったトドマツ夏植栽苗の8年間の生存と成長：原山尚徳（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所）ら	J5 エルニーニョ南方振動が突き動かすポルネオ熱帯雨林の炭素・水循環：熊谷朝田（東京大学）	S7-1 ボーイスカウトで実施している森林環境を活用した教育活動：香山雅純（森林総合研究所）	
9:15	微生物	動物・昆虫 1	立地	E2 植栽地の斜面方位によって必要な下刈り回数が変わるか？：陶山大志（島根県中山間地域研究センター）	J6 ワサビ田の微気象構造とその上位部に生育するヒノキの樹液流動測定：竹内真一（東海大学）ら	S7-2 中学校における森林環境教育の取り組みについて：玉置理那（鹿児島市立谷山中学校）	
9:30	M1 <i>Phyllosticta sphaeropsoides</i> によるトチノキ斑葉病（新株）：富澤千晶（東京農業大学）ら	L1 シカによって剥皮害を受けた直後のサラサドウダン幹表面の細胞形成：阪上宏樹（九州大学）ら	I1 10年間の森林下層植生除去が土壌生物群集機能に与える影響：菱拓雄（九州大学）ら	E3 低コスト再造林プロジェクト紹介：田中賢治（国土防災技術株式会社）	J7 Impact of conversion from forest to photovoltaic power farm on river water quality: フアラナクモイン（東京大学）ら	S7-3 通信制高校における自然体験を中心としたカリキュラムに関する実践報告：中嶋優友（広島工業大学高等学校）	
9:45	M2 ナナミノキの枝葉に発生した細菌病について：石原誠（森林総合研究所）ら	L2 北八ヶ岳亜高山針葉樹林におけるニホンシカが好む環境条件：小山泰弘（長野県林業総合センター）ら	I2 攪乱・圧縮を受けた森林土壌の低温条件下での回復：小野裕（信州大学）ら	討論・調整	討論・調整	S7-4 大学構内の森林における体験活動の可能性：子ども・学生の育ちからの考察：佐藤冬果（東京家政学院大学）	
10:00	M3 <i>Quercus</i> 属の樹液に見られる酵母の種多様性：遠藤力也（理化学研究所）ら	L3 60年前の風倒後の倒木撤出が現在のシカの景観スケールでの分布に与える影響：鈴木智之（東京大学）ら	I3 タイ西部の熱帯季節節での森林動態と物質循環の長期観測：平井敬三（国立研究開発法人 森林研究・整備機構）ら	E4 ツリーシェルターが植栽苗に及ぼす効果のメタ解析：安部哲人（日本大学）	J8 森林流域のかく乱に伴う深流水の硝酸態窒素濃度の長期変動とその規定要因：勝山正則（京都府立大学）ら	S7-5 大学演習林を活用した共通教育科目としての自然体験活動の教育効果：川畑和也（鹿児島大学）	
10:15	討論・調整	L4 皆伐・植栽地及びその周辺を利用するニホンシカの行動：犬場孝裕（静岡県西部農林事務所）	討論・調整	E5 人工光型植物工場における給水管理がカラマン苗の成長に及ぼす影響：野末はつみ（信州大学）ら	J9 気象モデルを用いた台風に伴う森林災害を引き起こす強風の推定：吉岡真由美（国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA））ら	S7-6 森林環境における野外運動授業が大学生の創造性に及ぼす影響：渡邊仁（筑波大学）	
10:30	M4 御嶽山の優占針葉樹3種における外生菌根菌の群集構造と生育への影響：高津穂大（名古屋大学大学院）ら	討論・調整	I4 北海道苫小牧の落葉広葉樹林における火山灰埋没土壌中の炭素蓄積：保原達（酪農学園大学）ら	E6 海岸砂丘地のクロマツ保護樹による成長期の環境緩和効果：多山尚希（鳥取大学）ら	J10 風環境に対応した立木振動の変化：上村佳奈（信州大学）ら		
10:45	M5 外生菌根菌の菌糸伸長と分布決定に果たす温度の役割：小泉敬彦（東京農業大学）ら	L5 ナラ枯れの原因はどこまで解明されたのか？：小林正秀（京都府森林技術センター）	I5 スギ人工林域の炭素吸収量の将来予測—スギの面積縮小と高齢化の影響—：鳥山淳平（森林総合研究所九州支所）ら	討論・調整	討論・調整		
11:00	M6 Dynamics of soil properties and AMF communities in roots and soils of <i>Cryptomeria japonica</i> : DjotanKevin（東京大学）ら	L6 粘着性塗布剤によるナラ枯れ被害防除効果の検証：吉田智弘（東京農工大学）ら	I6 日本の森林土壌におけるメタン・CO2フラックスの時空間変動：森大善（森林総研九州）ら	E7 中国雲南省における森林保全の取り組みと植物利用文化への影響：王文（神戸大学）ら	J11 間伐が海岸線の津波及び風害抵抗性に及ぼす影響：鳥田宏行（苫小牧工業高等専門学校）ら		
11:15	M7 針葉樹林と広葉樹林の土壌細菌・真菌・線虫群集構造と共生ネットワーク構造：北上雄大（三重大学大学院）ら	L7 野外におけるイソプレンのカンノナガキウムシ誘引効果：伊東康人（兵庫農技総セ）ら	I7 ヒノキ林における間伐が土壌の温室効果ガスフラックスに及ぼす影響：稲垣善之（森林総合研究所）ら	E8 低密度植栽と低コスト樹幹注入法により海岸クロマツ林は維持管理できるのか？：小倉晃（石川県農林総合研究センター 林業試験場）ら	J12 樹林を用いた鉄道防災機能に関する研究：足立啓二（東日本旅客鉄道株式会社）ら		
11:30	討論・調整	L8 寄主木樹冠内でのカンノナガキウムシの捕獲：山崎理正（京都大学）ら	討論・調整	E9 人工林皆伐地とその周辺の地形が大型草食獣の採食強度に及ぼす影響：酒井敦（森林総合研究所）ら	J13 小規模室内延焼実験によるコナラ・スギ・アカマツ葉リター層の延焼速度：吉藤奈津子（森林総合研究所）ら		
11:45		討論・調整		討論・調整	討論・調整		
12:00							

研究発表題目（部門別口頭発表）3月10日 午前2/2

会場	413	431	432	441	442	443	541
開始時刻	風致・観光 2		利用 1	経営 3			
9:00	B4 大雪山国立公園における登山道維持の課題と登山者参加：菱甲哲也（北海道大学）ら		K1 数値シミュレーションを用いた事業計画ツールと木材利用への応用可能性：金子峻亮（東京大学大学院）ら	D21 2周波 GNSS 測位における植生と地形の影響評価：吉井達樹（名古屋大学）ら			
9:15	B5 支笏湖の適正利用を目的とした費用負担導入に対する利用者意識：深津幸太郎（北海道大学）ら	林政 2	K2 林業作業におけるウェアラブルセンサを用いた作業種と心身状態の予測：榎本真（BIPROGY 株式会社）ら	D22 3次元レーザーを用いた森林内空間解析：加藤顕（千葉大学）ら			
9:30	B6 自然公園の基金制度から発表取消	A19 Evaluation and Prediction of Economic Impacts of Cross-Laminated Timber Manufacturing in Japan: 劉夢媛（東京農工大学）	K3 ROSを用いたグループローダー自動制御手法の開発：伊藤崇之（森林総合研究所）ら	D23 地すべりに対する土塊と樹木の傾きとの関係：若林日菜（千葉大学）ら			
9:45	討論・調整	A20 家具用固産広葉樹材供給拡大への条件解明ー流通規格の必要性：天野智将（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所）ら	討論・調整	討論・調整	植物生態 1	生理	
10:00	B7 野付風蓮道立自然公園の国立公園化における管理有効性評価の活用：井上貴央（北海道大学）ら	A21 愛媛大学演習林における広葉樹材の活用に関する一考察：川崎章恵（愛媛大学）ら	K4 小規模熱利用に供する燃料用木質チップを生産する移動式切削チップの性能：竹内大歐（東京農工大学）ら	D24 LiDAR データを活用した非経済林管理の DX 化：田中和博（京都先端科学大学）ら	H1 気候変動下で北海道の天然林はどう変わる？動的植生モデルによる予測：佐藤永（海洋研究開発機構）ら	G1 イヌマキ苗木における乾燥に対する生理機能の脆弱性が樹冠衰退へ与える影響：高橋玄（千葉県森林総合研究センター）ら	
10:15	B8 林地のトレイルにおける多様なレクリエーション利用の地理的特徴：松浦俊也（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所	討論・調整	K5 車両系林業機械の走行が走行跡地に植栽したスギの活着と成長に及ぼす影響：松浦崇遠（富山県森林水産総合技術センター森林研究所）ら	D25 航空レーザーに基づく森林資源解析結果の森林計画制度への反映：塚原正之（アジア航測株式会社）	H2 MODIS による中国黄淮海の農作物 FVC 変動と因子反応：董徳進（九州大学）	G2 亜高山帯林における標高勾配に沿った樹木細根の吸水速度：増本泰河（信州大学大学院）ら	
10:30	B9 アルプス・折立太郎線登山道沿いの地形と人為的攪乱について：大宮徹（富山県森林水産総合技術センター 森林研究所）ら	A22 都道府県における省エネ健康住宅認証制度と木材の関わり：安村直樹（東京大学）	K6 中間土場による運材費の削減は経済的な再造林可能範囲を拡大出来るか：津田高明（地方独立行政法人 北海道立総合研究機構）ら	D26 航空レーザー計測データと過去の空中写真を用いた地位指数曲線の作成：村上拓彦（新潟大学）ら	H3 RTK-UAV を用いた地震由来の斜面崩壊跡地における初期の植生回復要因の把握：中田康隆（京都府立大学）ら	G3 Relationship between stem hydraulic conductivity and stomatal conductance sensitivity to VPD in Borneo's canopy trees.: 辻祥子（京都大学）ら	
10:45	討論・調整	A23 森林生態系サービス提供のための PES 等のイノベーション 欧州と日本の比較：柴田晋吾（上智大学）	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	
11:00	B10 日本における観光ガイド従事者に関する研究動向の把握：武正憲（東洋大学）ら	A24 山林評価人に関する研究：大塚生美（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	K7 位置誘導装置による乗用型刈払い機（山もつとモット）の下刈り作業：渡辺一郎（地独）北海道立総合研究機構林業試験場）ら	D27 樹冠高データを用いたカラマツ樹高曲線の作成：不成績造林地を考慮して：蝦名益仁（地方独立行政法人北海道立総合研究機構）ら	H4 暖温帯常緑広葉樹林における樹木の空間分布と地形依存性：蜂須賀莉子（鹿児島大学大学院）ら	G4 スギにおける樹幹 CO ₂ 放出速度に樹幹温度および木部分化帯幅が与える影響：平谷理人（信州大学大学院）ら	
11:15	B11 在日外国人を対象にした三瓶山エリアの観光魅力度の評価：陳月（鳥取大学）ら	討論・調整	K8 根系の片側が除去された直後の立木の安定性：松本武（東京農工大学大学院）ら	D28 航空レーザー計測による単木樹高データを用いた最大積雪深と樹高成長の関係：大矢信次郎（長野県林業総合センター）	H5 ササ優占型成熟林におけるギャップサイズが林床植生に及ぼす影響：植田時保（筑波大学）ら	G5 雄性不稔遺伝子 <i>MS1</i> を変異させたケムシ編集スギの性質：西口満（森林総合研究所）ら	
11:30	B12 森林レンタル事業の利用者が好む森林風景：水内祐輔（東京大学）ら		討論・調整	D29 大規模航空機レーザー計測データと衛星画像を組み合わせた森林資源量の予測：志水克人（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所四国支所）ら	H6 ヒノキ人工林の小面積皆伐に対する林床植生の対応：洲崎燈子（豊田市文化研究所）ら	討論・調整	
11:45	討論・調整			討論・調整	討論・調整		
12:00							

研究発表題目（部門別口頭発表）3月10日 午後1/2

会場	331	332	341	342	343	411	412
13:00							
13:15							
13:30	ポスター発表コアタイム						
13:45							
14:00	特用林産	動物・昆虫 2	遺伝・育種	造林 2	防災・水文 3	教育 3	
14:15	N1 マツタケ子実発生量と期間別降水量の相関：古川仁（長野県林業総合センター）ら	L9 ピロウドカミキリの選好性樹種：江崎功二郎（石川県農林総合研究センター林業試験場）ら	F1 フトミズナラ <i>Quercus mongolicoides</i> の起源と分布拡大について：広木詔三（名古屋大学）ら	E10 ササ型林床ヒノキ人工林における間伐後の下層植生の発達様式：城田徹夫（信州大学）ら	J14 林地の屋根部と谷部における TERS 21 を用いた水分ポテンシャルの連続観測：関口寛人（森林総合研究所）ら	C10 高校における国内留学の課題に関する研究 一群馬島の O 高校を対象として一：小林雪菜（東京農業大学）ら	
14:30	N2 マツタケ発生不作 3 要因の検討 発表取消	L10 土壌由来の <i>Osccheius</i> 属線虫のマツノマダラカミキリ幼虫に対する接種試験：小澤壮太（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 東北支所）ら	F2 フトミズナラとミズナラが倒所的に分布する集団における形態形質の変異：玉木一郎（岐阜県立森林文化アカデミー）ら	E11 秋田県生保内ブナ施業指標林における 47 年間の天然更新過程：杉田久志（元森林総合研究所）ら	J15 堆積岩斜面での土壌水分観測によって推定された流出機構と水収支：小島永裕（滋賀県琵琶湖環境科学センター）ら	C8 地域の自然素材を生かした環境教育：津田美子（小清水町立小清水小学校）ら (3月8日からここに移動)	
14:45	N3 クロモジのソーラーシェアリング作物としての可能性の検討：高橋輝昌（千葉大学）ら	L11 <i>Heterorhabditis</i> 属線虫の共生細菌のマツノマダラカミキリに対する殺虫活性：前原紀敏（森林総合研究所）ら	F3 無花粉スギ「爽春」の遺伝子を持つヘテロクローン間における花粉形成の比較：平塚理恵（東京慈恵会医科大学）ら	E12 天然生混交林の択伐施業下におけるミズナラの動態：吉田俊也（北海道大学）ら	J16 山地流域における豪雨時の流出応答を過去のデータから評価する：浅野友子（東京大学）ら	C12 サンプギを題材とした森林環境教育に基づく課題研究の実践：森田直之（東京都立科学技術高等学校）ら	
15:00	討論・調整	L12 モデル線虫を用いてマツノザイセンチュウの媒介昆虫認識メカニズムに迫る：桐野巴瑠（明治大学）ら	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	
15:15		討論・調整	F4 高木化したカラマツ採種木の種子生産：二本松裕太（長野県林業総合センター）ら	E13 異なる間伐を行ったヒノキ人工林における幹成長と葉面回復の比較：宮本和樹（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	J17 Bedrock groundwater responses and its contribution to runoff generation processes in headwater catchments: NguyenThi My Linh (University of Agriculture and Technology) ら	C13 野外炊事で育てられる災害時に役立つ力：廣松桜侑（北海道教育大学岩見沢校）ら	
15:30		L13 栽培アラゲキクラゲから検出された線虫の伝播者について：津田格（岐阜県立森林文化アカデミー）ら	F5 マツノザイセンチュウ抵抗性クマツツク品種の育種基本品横断的な抵抗性評価：松永孝治（森林総合研究所 所林木育種センター九州育種場）ら	E14 ヒノキ人工林における幹成長のばらつきの評価：河野士竜（兵庫県立大学）ら	J18 堆積岩山地における基岩の透水性および保水性についての考察：正岡直也（京都大学）ら	C14 自然体験活動が小学生のレジリエンスに与える影響：若狭郁実（北海道教育大学岩見沢校）ら	
15:45		L14 寄生生物観察のためのスズメバチ越冬女王の飼育：小坂肇（森林総合研究所）ら	F6 コンテナへ直挿したスギさし穂への施肥による成長促進効果：大平峰子（森林研究・整備機構森林総合研究所 所林木育種センター）ら	討論・調整	J19 堆積岩山地における湧水点分布と地形・地質の関係：福岡諒（京都大学）ら	C15 森林教育活動の効果検証に関する研究法の課題：山田亮（北海道教育大学岩見沢校）ら	
16:00		L15 微地形と植生は森林昆虫の捕食性を不均一にする：中辻宏平（東京農工大学）ら	討論・調整		討論・調整	C7 クビアカツヤカミキリの被害防除に向けて学校教育ができることを探る：倉林正（太田市立太田高等学校）ら (3月8日からここに移動)	
16:15		討論・調整				討論・調整	
16:30							
16:45							
17:00							
17:15							

研究発表題目（部門別口頭発表）3月10日 午後 2/2

会場	413	431	432	441	442	443	533
13:00	ポスター発表コアタイム						
13:15							
13:30							
13:45							
14:00	風致・観光 3	林政 4	利用 2	経営 4	植物生態 2		学会企画 5
14:15	B13 人々ほどの程度暑いと都市緑地・近郊林への訪問行動を変化させるのか？：庄子康（北海道大学）ら	A25 森林認証取得が事業体に及ぼした変化—浜松市の事例—：松本清貴（名古屋大学大学院）ら	K9 作業道の路面材料としての木質バイオマス発電由来クリンカアッシュの効果：鈴木保志（高知大学）ら	D30 UAV及び航空機レーザー計測による高密度点群を用いたエリアベース樹種判別：皇川健史（静岡県立農林環境専門職大学）ら	H7 ヒノキ人工林における定点撮影画像を用いた落葉フェノロジー推定手法の開発：花谷周亮（兵庫県立大学大学院）ら		中等教育連携推進 高校生ポスター 表彰式
14:30	B14 高温は都市緑地・近郊林の訪問者数を変化させたか？：ビッグデータによる解析：若山菜央（北海道大学）ら	A26 日本の木材市場における価格伝達に関する計量時系列分析：植熊悠宇至（森林総合研究所）	K10 産業連関分析による木製山ダム建設の温室効果ガス排出量：藤田智都（秋田県立大学）ら	D31 UAV画像と深層学習によるマツ枯れ被害木の検出：小林裕之（富山県農林水産総合技術センター）	H8 順次展葉するダケカンバ幼樹の総一次生産と葉群形質の関係：柘植匡（筑波大学大学院）ら		
14:45	B15 他の趣味と比較した森林散策とメンタルヘルスとの関連：J-MICO 大幸研究：森田えみ（(国研) 森林研究・整備機構 森林総合研究所）ら	A27 神奈川県相模原市青根地区および鳥屋地区における拡大造林の実態：松本湧成（東京農工大学大学院）ら	K11 ボトムアップ推計による市区町村別木質バイオマスポテンシャルの分布特性：小野遠河（東北大学大学院）ら	D32 周囲測量を考慮した各種計測機器の精度と時間の比較：今岡竜希（島根県立農林大学校）ら	H9 異なるマイクロハビタット間でのコケモモのシュート成長や葉特性の違い：井上みずき（日本大学文理学部）ら		
15:00	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	討論・調整	学会企画 6	
15:15	B16 山村の雑穀栽培及び利用方法の把握—石川黒白峰の3種類の雑穀を事例に—：上田隆太郎（名古屋大学大学院）ら	A28 発表取消	K12 地域における未利用森林バイオマス資源の効率的な供給システムの検討：黒田浩太郎（東京大学大学院）ら	D33 デジタル航空機写真測量によるスギ林の林分材積推定：小谷英司（森林総合研究所）	H10 Variations in seed dispersal in terms of landscape scale: a study from a temperate forest: Wijenayake Pavithra (Forestry and Forest Products Institute) ら	日林誌 日林誌のウラガワ	
15:30	B17 森林の多面的機能の経済評価：豆野皓太（東北大学）ら	A29 連合国占領下の京都市におけるゴルフ場建設と京都大学上賀茂試験地の移転：坂野上なお（京都大学）	K13 3次元レーザーを用いた樹形特徴の聴覚的表現手法の確立：笠原真珠（千葉大学）ら	D34 衛星データと深層学習を用いた、全県森林変化域検出の試み 3：渡邊学（東京電機大学）ら	H11 天然林におけるヒノキの種子生産とカラムシ類による吸汁被害の年変動：野口麻穂子（森林総合研究所東北支所）ら		
15:45	B18 福木屋敷林の持続可能な保全—生態系機能評価と管理手法の確立—：陳碧霞（琉球大学）	A30 近代東アジアへの林学普及におけるアメリカの影響と特徴：平野悠一郎（森林総合研究所）	討論・調整	D35 The global deforestation overview: A high-resolution perspective: Nguyen Tien Hoang (Research Institute for Humanity and Nature) ら	討論・調整		
16:00	討論・調整	討論・調整		討論・調整			
16:15							
16:30							
16:45							
17:00			閉会式				
17:15							